



讃謳我未来

～ 進路指導室だより ～

鹿児島県立曾於高等学校

第25号

令和元年10月28日(月)発行

◆ いっはじめるの？

中間考査・文化祭が終わり、ホッとしたのも束の間、1・2年生は模試や資格・検定、部活動の大会に向けて、気持ちを切り替え、目標を定めて取り組んでいることと思います。もちろん受験を控えている3年生は、自分や時間と戦いながら、合格・内定を目指して努力を続けていることでしょう。

さて、皆さんは様々な目標をもって学校生活を送っています。そこで、その目標に対して、どれだけの強い思いをもって生活しているのでしょうか？現段階の自分の力を把握していますか？日々積み重ねているものがありますか？必ず目の前にやるべきことがあります。勇気をもって一歩踏み出し、継続させていきましょう。今の積み重ねが、きっと自分のため、社会のため、将来出会う人のためにプラスに働くことでしょう。「いっはじめるの？」の答えはやはり「**今でしょう**」しかありません。今日から、今からはじめてください。

◆ 企業は何を見るのか？

9月16日に就職の選考試験が始まり、その後の結果で、就職希望の3年生は泣き笑いしました。その3年生が受験したすべての選考試験において面接が実施されました。さて、面接官はその面接で何を見るのでしょうか？

次に示してあるのは、日本経済団体連合会が実施した「2018年度新卒採用に関するアンケート調査結果」の『選考にあたって特に重視した点』の上位項目です。

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1位「コミュニケーション能力」(82.4%) | 16年連続 |
| 2位「主体性」(64.3%) | 10年連続 |
| 3位「チャレンジ精神」(48.9%) | |
| 4位「協調性」(47.0%) | |
| 5位「誠実性」(43.4%) | |
| 6位「ストレス耐性」(35.2%) | |

面接を通して、身だしなみ・顔つき・姿勢以外に、これらを身につけているかどうかを見ます。これらは、**社会に出たら必要とされるもの**のばかりです。現在、人並みに身につけているかをしっかり自分で把握してください。社会に出たら苦労します。今後、これらをパワーアップさせたり、身につけられるように努力したり、普段から強く意識した生活を送ってほしいと思います。

◆ 3つのY

- ① 今まで何をやってきたか
- ② 今何をやれるのか
- ③ 将来何をやりたいのか

自分としっかり向き合い、3つのYを整理し、自己分析を行ってほしいと思います。過去にあった出来事、現在の状況、未来に対する願望、自分の思いや考えを片っ端から紙に書き出してください。場合によっては、友人や保護者、先生方に聞くなどして、自己分析を進めてもいいでしょう。書き出したその紙を眺め、③について今後どのようにしていけばよいのか具体策を書き出してください。そして、具体策を広げていくことによって、現在の過ごし方の改善点や生き方のヒントが見えてくることでしょう。

◆ 進路を「探す」「選択」よりも「〇〇」

「将来何をやりたいのか」を考え始めると、ついつい探したり、いくつかの選択肢の中から選んだりしてしまいます。実は、進路を考えるポイントとして、現在自分の知っている知識や経験をもとにして、**自分の進路を創りあげていく**ことが大切になってきます。あなたならではの資質・能力、生き方があります。自ら創り上げ、理想に近づけるように努力してほしいと思います。あなたの思いと行動次第でどんな人生だって送ることができます。

これからの世の中の動向を探り、どんな仕事が必要とされているのか、自分は何で活躍できるのか、どのように社会に貢献していけるのかを分析し、「やりたいこと」を追求してほしいと思います。

◆ どこがゴール？【3年生へ】

現在、就職組の試験が後半戦に突入し、また、進学組の推薦入試が続々と始まっているところです。すでに進路が決定した者は周りに対する心遣いを、これから受験を控えている者は合格・内定を目指し、自分を信じることができるくらい取り組み、最後まで粘り強くいてほしいと思います。

高校生の最終的なゴールはやはり**卒業**です。合格・内定で気を緩めてはいけません。高校生活の一日一日を卒業後の生活(人生)を充実させるための準備期間に充ててほしいと思います。曾於高四期生、ゴールまで気張れ!!!

◆ 変わる大学入試～現在の高2から

○ 大学入学共通テスト

大学入学共通テスト(現大学入試センター試験)が2021年1月16日(土)、17(日)に実施されます。大きく変わるポイントは4点です。

- ① 国語と数学において、マーク式問題だけでなく記述式問題が一部加わる。
- ② 「正答が複数ある」「解なし」など従来と異なるマーク式設問が出題される。
- ③ 複数の資料を読み取り、解答する情報処理能力が求められる。
- ④ 英語は「読み」「聞く」に加え、マーク式の試験では出題が難しい「書く」「話す」を測るために民間の資格・検定試験が導入される。

○ 大学入試英語成績提供システム

資格・検定試験(英検・GTEC など)の成績を大学入試センターで集約・管理し、出願大学へ成績提供されるようになります。資格・検定試験のスコアや CEFR(語学の熟練度を「A1」から「C2」までの6段階に分けて評価する国際指標)などが使われます。大学受験で利用できるのは、大学受験年度の4月から12月までの最大2回の結果になります。各大学によって「出願資格として利用」「大学入学共通テストの英語試験の得点に加点」「利用しない」など利用の仕方が異なります。

英語成績提供システム利用予定大学(文部科学省:10月11日までの集計)

	国立	公立	私立	短大	合計
利用予定大学	78校	78校	383校	91校	630校
利用予定割合	95.1%	85.7%	65.2%	29.5%	59.0%

本校では、ベネッセコーポレーションが実施する **GTEC** を昨年度から受検しており、大学受験年度の本番に向けて準備を整えているところです。

○ 多面的・総合的評価入試

総合型選抜(現 AO 入試)、学校推薦型選抜(現推薦入試)だけでなく、一般選抜(現一般入試)においても、調査書や志願者本人が記載する資料の提出や面接等が行われ、「主体性・協働性」「表現力」等を評価されるようになります。

◆ 今からはじめること【1・2年生へ】

《 四年制大学・短期大学進学希望 》

現在、大学入試制度が大きく変わってきています。まず、**正しい情報を得る**ことが重要です。志望大学のHPや募集要項、進路情報サイトなどで情報収集を積極的に行ってください。

また、高校生活における活動履歴を蓄積し、自分の強みや経験を志望大学の学びに結びつけて考えることも大切になります。**自分の強みを創り、それを言語化すること**に心掛けましょう。

《 進学希望 》

(1) 上級学校の研究

志望先の上級学校において①学ぶ内容②取得できる資格③卒業後どのような仕事に就けるかなどを調べましょう。

(2) 入試の種類・形式・内容の確認

どのような入試があるか確認し、自分の実力が発揮できる入試方法を検討しましょう。「総合型選抜(現AO入試)」「学校推薦型選抜(現推薦入試)」「一般選抜(現一般入試)」それぞれ出願時期、入試日程、選考・評価方法など異なります。

(3) 進学費用の確認

①受験時の費用②入学手続き時の納入金③学費④生活費については、保護者の方とともに詳しく知る必要があります。また、奨学金制度を活用することもできるので、早い段階から保護者の方と一緒に検討しましょう。

(4) 興味・関心のある分野の探究

テーマを設定し、探究をはじめてみましょう。探究することによって、より学ぶ意欲が高くなることはもちろんのこと、それが進路につながり、受験の際に必要な志望理由書・小論文・面接試験等の材料にもなります。まず、興味・関心のある分野や自分の進路に関連するニュースに対して、自分の考えをノートに書き出してみましょう。

《 就職希望 》

将来どのような仕事をしたいのか、どのような生活を送りたいのかをイメージしながら、職業理解を深め、企業研究を進めてほしいと思います。普段から、「働くって?この会社って?この仕事って?」という視点をもって生活してください。そこで、まず、本校卒業生が就職した企業や本校に頂いた求人票を確認し、調べることから始めてみませんか。企業や仕事を知るきっかけとなります。

《 公務員希望 》

まず、公務員の職種・試験のスケジュール・難易度を確認してください。そして、「安定しているから」「ただなんとなく」という志望理由から脱却し、公務員としての将来のビジョンをもてるようになってほしいと思います。

◆ 進路希望調査

来月実施します。2年生は学校名や企業名が書けるようにしておいてください。1年生は来年度に向けて、コース選択や文理選択、選択科目を決定させる大切な時期が近づいてきています。高校における大きな分岐点になります。様々な情報を得るとともに、保護者・先生・先輩に相談しながら、進路希望をはっきりさせていきましょう。